

謹んで

寒中のお見舞いを申し上げます

年もあらたまり、皆さまにおかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、約六十年にわたって常讃寺の住職を勤めて参りました父藤場常清が、去る九月一日、家族の見守る中静かに息を引き取り往生の素懷を遂げました。

故人は、念仏の教えに生きること何よりも大切にしておりました。その浄土真宗の教えによれば、浄土に往生し仏に成ることは、悲しむべきことでも忌み嫌われるべきことでもありません。したがって、往生を喪(死別を悲しむ)として欠礼することは故人の望むところではないと思われます。しかしながら、ことさら新年の慶賀に不興をかこつのも本意ではありませんので、年賀状を遠慮し、本状をもちまして年頭の御挨拶を申し上げます。

二〇一三年年一月十五日

藤場 俊基

〒九二一 八八二五 野々市市三納一丁目一五・一
電話 076-248-4271／7203